

第28期第6回常任理事会議事録

日時：1995年2月22日 13時30分～16時00分

場所：気象庁内日本気象学会事務室

出席者：松野，関口，磯部，大西，小倉，斉藤，里村，
竹内，田中，中村，藤谷 以上11名

議事

1. 議事録の確認

- ・第28期第5回常任理事会
一部修正のうえ承認。
- ・第28期第1回評議員会
事前に出席者に確認を求め、修正してもらった文
案を提案。原案どおり承認。

2. 各委員会からの報告及び審議

- 庶務…後援名義等使用依頼2件を承認。
海洋理工学会平成7年度春季大会協賛（同学
会主催，95年4月，東京都）
第6回計算流体力学シンポジウム協賛（流体
力学学会主催，95年7月，大阪市）
- ・平成7年度文部省科学研究費助成金（研究成
果公開促進費）の公募に対し，札幌，東京，
大阪の夏季大学および大阪の秋季大会時に開
催されるシンポジウムの4件を申請した。

会計…95年1月の収支状況を報告。

天気…2月号の内容及び3，4，5月号の予定を報
告。

- ・2月号に関口理事が執筆した和達名誉会員へ
の追悼文を掲載。別に追悼特集を企画し，和
達会員と関係の深かった多くの人に寄稿を依
頼したところ，大半の人に協力してもらえる
見込み。7月号を目途に準備。
- ・2月17日に95年度の入札説明会を行った。4社
が参加。2月24日に応札。

気象集誌…95年度入札説明会を2月24日に行う。

研究ノート…「酸性雨II」を182号として発刊した。
「やませ」も3月に刊行予定。

- ・気象研究ノートをもう少し【天気】等で宣伝
したい。

講演企画…本日2月22日に春季大会プログラム編成
等のための委員会を開催。

教育と普及…第29回夏季大学は「雨とメソスケール
気象（仮題）」で開催予定（8月1日～3日，
千代田区立中小企業センター）。講師予定者の
了解を得た。

国際学術交流…2月28日締め切りで助成希望者を募
集中。3月に委員会を開催して決定する。

- ・95年11月につくば市で「地球環境と極域気候
変動をテーマにした「和達国際会議」を開催
する準備が進められている。アラスカ大学に
和達氏の名前を冠した講座がある縁で数年前
から計画されていたもの。25名程度の海外の
最先端の研究者を招待する。この実行委員会
から国際学術交流基金に対し15万円の援助の
希望があった。委員会で審議する。

パソコン通信…1月のアクセス回数461回。

- ・『気象集誌』に掲載された論文インデックスを
印刷担当者からフロッピーで購入し，デー
タベースに加えることにした。95年度からは
入札時の仕様に盛り込むため，特別の予算支
出はなくなる。

- ・学会としてインターネットとの接続を将来的
に検討すべきとの提案が担当理事からあつ
た。気象庁の庁内ネットに接続できないかな
どの可能性も検討してみることにする。

関東地区連絡会…1月24日に開催した連絡会の議事
のメモを参考資料として提出。立ち上がり
が遅かったため，今回の春季大会では連絡会
として特別のことはできない。3月か4月に連
絡会を再度開催し，今後の活動方針を決める。

3. 1995年度日本気象学会賞候補者の推薦について

1月23日に推薦委員会を開催した。一般からの推
薦2件，委員推薦1件の計3件の推薦があつた。昨
年度推薦の4件も参考として審議した結果，1名
の推薦を決定した。以上の推薦委員会からの報告を受
け，全理事の賛否投票にかけることとする。

推薦委員会からコメントのあつた，推薦件数が少
ない件，最近増加している共著論文を評価する際
の基準のあり方などについては，今後の理事会など
で討議していく。

4. 1995年度藤原賞候補者の推薦について

一般推薦2件，委員からの推薦2件を審議し，1
名の推薦を決定したとの推薦委員会からの報告を受
けた。選定理由書を若干書き直したうえ，全理事の
賛否投票にかけることとする。

5. 会員の新規加入等について

個人12名，団体1の入会を承認。個人9名，団体

1. 賛助会員1の退会を報告.
6. 名誉会員の選任について
全理事による賛否投票を行い、27名中25名の投票があった。いずれの候補者も理事総数の3分の2以上の賛成を得たので総会に提案し承認を求める。今回、総会に提案する名誉会員候補は、岸保勤三郎、藤田哲也、村上多喜雄、山元龍三郎の4会員。
7. 弔事に関する学会内規の見直し
前回常任理事会で提案のあった内規の見直しについて審議。基本的な事項については改正する必要性はないとの結論に達した。ただし、難解な用語を用いている部分、バランスを欠く点については改める。また、全会員の訃報を『天気』に掲載するとの規定については実行が難しいため、削除することを確認。次回の常任理事会に庶務担当理事がこれらを盛り込んだ改正案を提案することとする。
8. 1995年度事業計画案、予算案について
ひきつづき、各担当から来年度計画に盛り込むべき企画を受け付けることとする。
9. その他
 - ・TOGA-COARE 計画の一応の終了や GAME 計

画が開始されようとしているなどの情勢を受け、「大気-海洋相互作用研究会」を改組し、新たに「大気-海洋-陸面相互作用研究連絡会」を設けたいとの要望が世話人の住明正会員からあり、常任理事会としてこれらを承認。

- ・講演企画委員の増田耕一委員（東京都立大学）に代わって、松山洋会員（東京都立大学）を講演企画委員とすることを常任理事会として承認。
- ・学会事務局のパソコン（PC-9801 VM）が故障。購入後相当年数が経過しているため新しいものを購入したいとの希望が事務局からあり、予算的裏付けもあることからこれを了承。機種についてはMacをもう一台との案、地方支部との文書交換の便宜を考慮して NEC にしたほうがよい、などの意見が出された。結論はパソコン通信担当理事と事務局に一任。
- ・評議員会で指摘された点のフォローアップについて意見が出され、『天気』を面白くする方策について自由討論。編集委員会で可能なことから実行していくこととする。